Apache Web サーバの設定: 仮想サーバの別名設定

Apache の設定にて仮想サーバの別名設定を実施いたします。

こちらは、www.example.com にてブラウザより参照可能となっておりますが、example.com でも参照可能とする設定となります。

1. [サーバ] [Apache Webサーバ] [www.example.com 仮想サーバ] と進みます

ログイン名: root
Webmin
システム
サーバ
Apache Webサーバ
BIND DNSサーバ
CVSサーバ
Dovecot IMAP/POP3 Server
MySQL データベースサーバ
Postfix の設定
PostgreSQL データベースサーバ
Procmail Mail Filter
SSHサーバ
SpamAssassin Mail Filter
Vsftpd
Webalizer Logfile Analysis
ユーザ E メールを読む
その他
ネットワーク
ハードウェア
Cluster
Un-used Modules
Search:

モジュール設定

Apache Webサーバ

Apache バージョン 2.2.15

変更を適用
Apacheを停止
Search Docs..

グローバル設定 | **存在する仮想ホスト** | 仮想ホストの作成

Select all. | Invert selection.

他のすべての仮想サーバのデフォルト設定を定義し、処理されなかった要求をすべて処理します。
アドレス 任意 サーバ名 www.prox.jp
ポート 任意 ドキュメントのルート /var/www/html

名前で指定されたサーバ www.prox.jp をアドレス ■■■■ で処理します。
アドレス ■■■■ サーバ名 www.prox.jp
ポート 任意 ドキュメントのルート /var/www/html

名前で指定されたサーバ www.example.com をアドレス ■■■■ で処理します。
アドレス ■■■■ サーバ名 www.example.com
ポート 任意 ドキュメントのルート /var/www/html-example

名前で指定されたサーバ www.prox.jp:443 をアドレス ■■■■ で処理します。
アドレス ■■■■ サーバ名 www.prox.jp:443
ポート 任意 ドキュメントのルート /var/www/html

Delete Selected Servers

2. 仮想サーバのオプション画面となりますので、[ネットワークとアドレス]をクリックします

モジュール インデックス

仮想サーバのオプション

www.example.com について

変更を適用
Apacheを停止

プロセスと制限
ネットワークとアドレス
ログファイル
ドキュメントのオプション
MIMEタイプ
エラー処理
ユーザとグループ
エイリアスとリダイレクト
CGIプログラム
ディレクトリのインデックス
プロキシ
SSLのオプション
PHP
自動仮想ホスト
フィルタ
言語
ディレクトティブの表示
ディレクトティブの編集

Apache Web サーバの設定: 仮想サーバの別名設定

3. ネットワークとアドレスの設定画面となりますので、下記のように [仮想サーバの別名] 欄へと FQDN を追加しまして、[保存] いたします

モジュール インデックス

ネットワークとアドレス

変更を適用
Apacheを停止

www.example.com について

www.example.comのネットワークとアドレス

ホスト名の検索	☐ いいえ ☐ はい ☐ 2回検索する ☒ デフォルト	RFC1413によるユーザ検索を行う	☐ はい ☐ いいえ ☒ デフォルト
サーバ管理者のメールアドレス	☒ なし ☐ <input type="text"/>	仮想サーバの別名	<input type="text" value="example.com"/> <input type="text" value="ns.example.com"/> <input type="text" value="mail.example.com"/>
サーバのホスト名	☐ 自動 ☒ <input type="text" value="www.example.com"/>	ブラウザが供給するホスト名を使用	☐ はい ☐ いいえ ☒ デフォルト

保存

← サーバのインデックスに戻る

最後に、[こちら](#)の方法にて設定内容を有効化しまして、作業完了となります

一意的なソリューション ID: #1031

製作者: Prox System design

最終更新: 2015-06-05 10:03